

## <令和6年度将棋同好会活動報告第三報>

令和6年8月15日

(6月24日)

○小黒 - 橋本戦一局目 後手小黒の○

小黒の後手棒銀からの速攻に対する橋本の受けに間違いが有り一手ばったりで小黒の完勝。

○小黒一橋本戦二局目 先手小黒の○

本局も小黒の棒銀模様。橋本は右玉から攻めを先行させたが無理攻め模様で自滅、小黒が連勝した。

○橋本一出井戦 後手出井の○

出井の三間飛車に対し、先手橋本はオーソドックスな船囲い。居飛車の橋本からの攻め先行がうまく決まり一時出井の角損の場面まで差が着いたやに見えたが、それ以後、橋本が攻めをもたつき、硬い出井玉を攻めめぐねている間にいつのまにか橋本玉に火が着き、出井が逆転勝ちした。

(8月13日)

○7月度は三者の日程の都合がつかず、この日の活動日を変更した。

8月度の正規活動日は8月30日に変更。

○小黒一橋本(先手)戦 小黒の○

後手小黒は棒銀戦法にはまっているようで、対橋本戦に多用、今回も橋本からの先手角交換に対し、玉の守備もそこそこに棒銀端攻めで九筋からの急戦を敢行、橋本の受けのまずさもあり、飛車先突破に成功しそのまま押し切った。

○橋本(先手)一出井戦 出井の○

出井の四間飛車に対し橋本は2枚銀による中央位取りからの攻めが決まり、圧倒的に有利な体制に持ち込み橋本の勝ち間違いのないものと思われたが橋本は、飛車の有効活用を目指し、あえて敵玉から遠い筋からの攻めを選択、その間に出井の薄い攻めが橋本玉の陣形を崩すスピードが追い付きいつの間にか逆転。いつものパターンが本日も。

○小黒(先手)一出井戦 出井の○

出井の四間飛車に対し、小黒は5-6筋中央の位取り作戦で臨んだが、逆に伸びすぎの欠点をとがめられ逆襲を抑えきれず小黒はあえなく撃沈。出井の振り飛車を橋本、小黒両者とも突破出来ずにいる。

○プロ将棋界話題

- ・主力8大タイトルを独占していた藤井聡太だが、早くも棋王の座を伊藤匠の挑戦に敗れ奪取され現時点で7冠になった。伊藤は小学生時代からの藤井のライバルで、藤井は伊藤に負けた時に大泣きした経験がある。この対決はプロになってからも長い戦いが当分続くものと思われる。渡辺明を中心とするベテラン陣にも奮起を期待したい。

○本日、活動後 軽く懇親会実施。

(次回は8月30日を予定)

以上